

「TIP」には、よいヒントという意味があります。福祉活動TIPSでは福祉活動団体にとって活動上取り入れるとよい数々のヒントを紹介していきます。

ふれあい囲碁

ふれあい囲碁とは、囲碁の基本ルールを1つだけ使った簡単なルールのコミュニケーション・プログラムです。
目的は、勝敗を競うことではなく、その場に集まった人々が、コミュニケーションを楽しむことによって良好な人間関係を築くことにあります。

ルールはひとつ 囲めば取れる

ふれあい囲碁のゲーム部分は、囲碁の基本ルールをひとつだけ使います。それは、相手の逃げ道をなくせば取れるという「石取りのルール」です。道具は線の描かれた碁盤と白黒の碁石だけ。どちらが先に相手の石を取るかを競います。碁盤の線を道路と考え、交差点に碁石を順番に置いていきます。下の図は白が黒を囲んでいます。こうなると、黒は逃げ道を失って取られてしまいます。

さっそくゲームを始めましょう。ジャンケンで勝ったほうが先攻後攻、そして碁石の色を選びます。対戦を始めるとき、双方が「お願い

ます」とあいさつをして、

好きなところ

に碁石を順番

に置いていき

ます。先に相

手の碁石を3

個取れば勝ち

です（先に

1個取れば勝

ち）でもOK

です）。

また「お願い

します」の

あいさつは、

礼に始まり礼に終わる」とい

う先人が培って

きた文化として、

ふれあい囲碁

では、とても大切

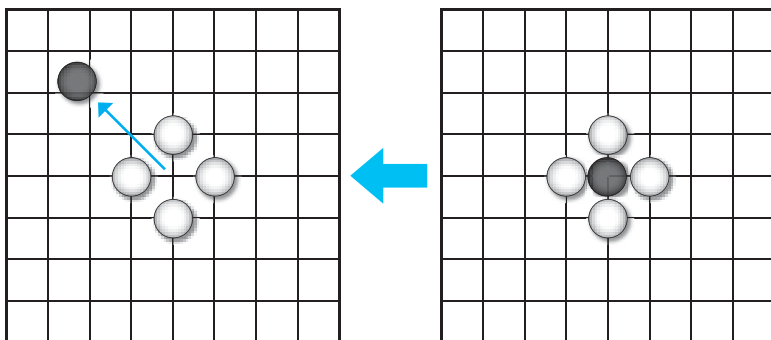
にしています。ちな

みに、ゲーム

が終わった

ら、「ありがとう

▼「石取りのルール」の図解



とあいさつをして終了します。

最初は10人1組ぐらいの団体戦にして、1人1個ずつ石を置くりレー方式で進めます。慣れてきたところで個人戦をするとコミュニケーションが深まります。

子どもから高齢者まで、障害の有無に関係な



広告を貼って



絵手紙



▼「ふれあい囲碁対戦カード」の図解

ふれあい囲碁 対戦カード		
名前		
	対戦相手の名前	勝敗
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

名札がわりに対戦カードを首にぶらさげます。枠の中には、相手（グループ）の名前と勝敗が記入できるようにします。

ふれあい囲碁の目的は、参加者同士がコミュニケーションを図り、人間関係を広げていくことです。そのため、相手の名前と顔を覚えやすいように、対戦するたびに名前を書き入れます。対戦表として勝敗を書き加えることで、ごく自然に相手の名前を書くことができますし、相手の名前と顔が強く印象に残ります。街角でばったり出会ったときにも、自然なあいさつを交わすことができます。

これがあると便利！
ふれあい囲碁対戦カード

く、初めて出会ったその場でチームを組み、あっという間に居心地のよい空気が生まれる。未知の感覚をぜひ味わってみてください。

団体戦のときは、3メートル四方のレジヤースシートに黒の布テープでタテ・ヨコ9本の線をひいて碁盤をつくりまします。碁石には、紙皿を30枚ずつ用意します。カラースプレーを吹きつけて色分けしてもいいですし、半分に広告などを貼るもよし、絵手紙を描くもよし、工夫して作るのも楽しいものです。

もちろん本物の碁盤と碁石を使ってもいいですし、ふれあい囲碁ネットワークでは、マグネット式囲碁セット（55cm四方）や紙製のセット（50セット入り）の販売もしています。

ふれあい囲碁の道具をつくってみよう



100円ショップで調達

もっと知りたい方は

ふれあい囲碁ネットワーク

〒999-8301
山形県遊佐町鶴田52-2 遊佐町中央公民館
FAX 0234-71-1222
<http://www.fureaiigo-net.com/>

地域づくり・人づくり推進会議

〒277-0026
千葉県柏市大塚町8-1-202
FAX 04-7197-4007
<http://chiiki-hito-kaigi.net/>



スプレーで色をつけて

◆このページは、38頁で紹介した「ふれあい囲碁ネットワーク大分」の谷川さんにご協力いただきました。